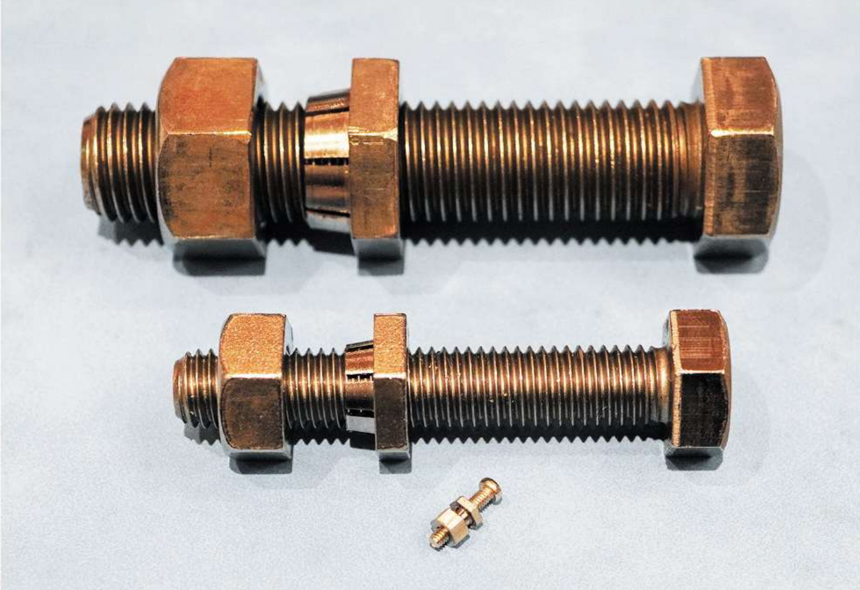
金属産業新聞2025年11月24日号

YSコーポレーション

「弛緩防止ナット」にM2

電子機器の用途で拡販へ



（手前から）テンタクルナットとボルトのＭ２、M10、M16

合同会社YSコーポレーション（東京都武蔵野市、正司康雅社長）は10月に、同社が開発した〝自己緩みの無いナット〟こと「テンタクルナット」のM2をラインナップに追加した。これにより電子機器への拡販を図る。

「テンタクルナット」は有限要素解析（FEA）を用いて研究・開発した、自然には緩まない構造を持つナットであり、上ナット（メス型）と下ナット（オス型）の分割構造で下ナットはスリット（切れ込み）が入り、8つに分割された状態となっている。

名称の由来はヨーロッパの伝説における怪物クラーケン（タコやイカ・頭足類）の「テンタクル＝足・触手」からで、スリットの入った下ナットがテンタクルのように、船＝ボルトを包み・抱えるがごとく押さえこんで緩みを防止する。

今回ラインナップに追加したM2は、昨年11月に展示会でM3を展示した際に来場者の電子機器メーカーから「より小さいサイズはないのか？」と質問され、それをきっかけに開発。寸法・形状は従来品をほぼそのまま縮小しており、上ナット単体・下ナット単体とも厚さ約3・2㍉で、重ね合わせることで約4・5㍉と、JIS規格におけるM2ナット（厚さ1・6㍉）約3枚分の厚さになり、設計時にこの厚さを考慮すれば強力な緩み止め効果を発揮できる。

これによりラインアップはM2～55までとなり、M2～6は電子機器向け、M6～20は機械部品向け、M16～55は構造物向けでの用途を想定・推奨し、拡販を目指している。

また同社は上ナットと下ナットの間に挟んで使用する専用のワッシャーも同時開発しており、締め過ぎの防止とともに締結時の微細な異物混入防止に効果を発揮する。

なお同社は11月26～28日に東京ビッグサイト（江東区）で開催の「産業交流展2025」に出展し、「テンタクルナット」を展示する予定となっている。

販売については既に代理店契約を結ぶ商社と連携しており、問い合わせに応じて、取扱代理店を紹介する体制を整えている。問い合わせは電話0422－55－7292、または同社WEBサイト（http://www.ys-corp.biz）まで。